

授業科目	社会的養護Ⅱ				単位	1		
履修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21603J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	山根 正夫							
授業概要	近年の社会的養護を取り巻く環境の変化に応じた方向性の中から、社会的養護Ⅰについての理解を基盤として更に子どもの権利擁護を基礎においた実際の社会的養護の内容について学びます。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的内容について具体的に理解する。 2 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 3 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 4 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。 5 社会的養護における子どもの虐待の防止と家庭支援について理解する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	50	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			10				10	
知識・理解 (DP1-2)			10				10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	5			15	
思考・判断 (DP2-2)			5	5			10	
関心・意欲 (DP3-1)			10	5			15	
関心・意欲 (DP3-2)			5	5			10	
態度(DP4-1)				10			10	
態度(DP4-2)				5			5	
態度 (DP4-3)				5			5	
技能・表現 (DP5-1)				5			5	
技能・表現 (DP5-2)				5			5	
技能・表現 (DP5-3)				0			0	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
現代の社会的養護の実際について理解し、その内容について十分に説明できる。				現代の社会的養護の実践について基礎的な知識を有する。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	子どもの権利擁護	演習(以下同様)	割り当てられた課題について、共同学習し、プレゼンテーション・討議などで理解を深める(以下同様)。	60分(以下同様)
2	社会的養護における子どもの理解。			
3	社会的養護の内容1、日常生活支援			
4	社会的養護の内容2:心理的支援			
5	社会的養護の内容3:自立支援			
6	施設養護の特性と実際1			
7	施設養護の実際2			
8	家庭養護の特性および実際			
9	個別支援計画の作成			
10	記録および自己評価			
11	社会的養護における専門性に関わる知識・技術・実践			
12	社会的養護に関わるソーシャルワークの知識・技術とその応用			
13	社会的養護における家族支援			
14	今後の社会的養護の課題と展望			
15	全体のまとめ			
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	2年次で開講されている児童家庭福祉と社会的養護Ⅰで学習した内容について理解しておくこと。プレゼンテーションにあたっては、共同学習、相互のコミュニケーションを意識できること。			
テキスト	相澤他編集「社会的養護Ⅱ」中央法規 2019(予定)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	自立支援計画研究科編「子ども家族への支援計画をたてるために」(2005)日本児童福祉協会			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	インターネットによる情報だけでなく、文献や研究論文などにもアクセスして理解を深めてください。			
達成度評価に関するコメント	基本的には各課題についてのプレゼンテーションの内容及びレポートで到達度を評価します。			

